

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和46年	
総合計画	大項目	基本目標	06 健全で自立したまちづくり
	中項目	基本施策	01 簡素で効率的な行政運営
	小項目	施策	13 その他事務管理(秘書)
事務事業名		01	表彰事業
根拠法令・例規等		備前市表彰条例ほか	
問		担当課(室)	総務課
合		職・氏名	係長 河井 健 治
先		電 話	0869-64-1800
このシート作成に要した時間		1.5 時間	

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	郷土の誇りとしてひとしく敬愛を受ける者、行政委員、文化貢献、公共事務及び公共事務ほう助など、市勢の振興に寄与した者、市民の模範と認められる者など
目 的 (何のために)	対象となる者を表彰又は推薦し、その功績、貢献を讃えるため
事業の意図する成果 (どのような状態にしたのか)	対象となる者を表彰又は推薦し、その功績、貢献を讃えることにより、市民をはじめ多くの方々が敬愛、賛美、共感の念を得られるようにする。

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	功労・善行表彰事業	市表彰条例に基づき市の政治・経済・文化・社会等の振興に寄与した者を表彰する事務	○
	栄典関係事業	叙位叙勲対象者の把握と上申に関する事務	○
	名誉市民表彰事業	市名誉市民条例に基づき社会文化の興隆、市の発展に功績があった者を顕彰する事務	○

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		325	19	186	
	必要人員人件費	千円	0.05人	482	0.07人	701
	事業費計		807	720	930	
	国県支出金					
	受益者負担					
	繰入金債	千円				
その他()						
一般財源		807	720	930		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	功労・善行表彰者数	説明	条例に基づく対象者を表彰すること			
	結果指標量	件	9	1	1	
	対前年比	%	-	11.1%	100.0%	
	活動コスト	円	527,000	256,000	147,000	
単位当たりコスト		58,556	256,000	147,000		

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
功労・善行表彰があること	目標値(A)	1	1	1	1
	実績値(B)	9	1	1	到達目標値
	達成率(B/A)	900.00%	100.00%	100.00%	
成果指標設定の考え方・式や説明					
対象となる者の功績、貢献を讃え、市民をはじめ多くの方々が敬愛、賛美、共感の念を持っていただくために表彰者が現にあること=数値1以上が目標となる					

事務事業の評価		妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	A
	必要性	
市民ニーズ	コスト	B
	効率性の評価	
有効性の評価	目的達成度	B
	市民参画度	

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
説明	叙位叙勲、市表彰という妥当な事務事業であり、特に市表彰である功労・善行表彰は対象範囲の見直しは随時必要である。また、叙位叙勲については、潜在候補者の調査を厳密に行う必要があり、事務量も増加する見込みとなっています。					

総合評価		評価区分 <A~E>	妥当性	効率性
永続的に行うことで、その効果が発揮される事業であることから、継続した事業実施が必要である。		B	A	B

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
取組目標	叙位叙勲は突発的に発生することもあり、上申期限も短期間であることから事前に準備することで作業時間の短縮に努める。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の目的やその効性の評価を行って下さい